

第1回鶴川駅南口のまちなみをつくる会

まとめ・ご意見ご感想

今回の「まちなみをつくる会」では、魅力的なまちなみとは、美しさだけではなく、使いやすさ、住みやすさ、防犯・安全面など様々な視点から考えることができること、そして、そのためにできる様々な工夫を知る会となりました。また、実際にそこで生活や営みを行う地権者の方々が、まちなみにどんなアプローチをしていくことができるのか、具体的なイメージを持っていただけたかと思います。

ご意見ご感想

二井先生の山形の事例で学べきは、エリア全体を公園と見立てる共通コンセプトで、ディテールがデザインされている、という点だと思った。

敷地が狭いと、なかなか緑化を考えるのが難しい。何か敷地が狭くても緑化できるアイデア等があればおしえてほしい。

駅前ロータリーの信号機や横断歩道の設置場所について、より詳しく知りたい。

自分の家だけではなく、周囲の環境・風景が大事だということがわかった。

地価（税金）を下げるためには、逆に対応した方がいいのかなとも思いました。

（事例であったように）道路の色を変えるだけで車が入りにくく感じるとは思っていなかった。人間の心理っておもしろい。

【 魅力的なまちなみ 】を
つくっていくには…

- 1 魅力的と思えるまちなみをつくっている要素を考える
- 2 自分たちの南口や自分の敷地で考えてみる
- 3 自分の敷地がまちなみの一部になる

二井先生の話、初歩的で具体的でした。しかし、今回の事例は鶴川の現状と比較で考えると乖離がありすぎると感じた。現状をもう少し掘り下げたい。

まちなみをつくるもの、普段意識していませんでしたが、様々な工夫がなされていることが分かりました。

土地の価値を上げると税金もあがる。支払をする住民にメリットはあるのでしょうか？

【次回以降の開催予定】

- 第2回 2024年7月6日(土) 10時00分～12時00分
テーマ：みどり豊かなまちとは？
(講師：建築家・前田圭介 先生)
- 第3回 2024年9月19日(木) 18時30分～20時30分
テーマ：歩きたくなるまちとは？
(講師：照明家・角舘まさひで 先生)
- 第4回 2024年10月26日(土) 10時00分～12時00分
テーマ：居心地の良いまちとは？
(講師：ランドスケープアーキテクト・石井秀幸 先生)

【ご参加お申込方法】

開催が確定いたしましたら、皆様へ事前にご案内をお送りいたします。

問い合わせ
町田市都市づくり部地区街づくり課
TEL 042-724-4214
〒194-8520
東京都町田市森野二丁目2番22号
E-mail：toshi070@city.machida.tokyo.jp

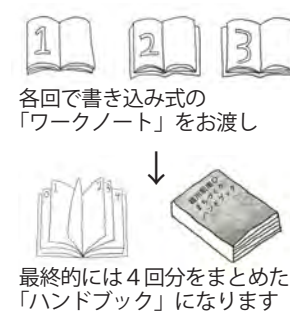


鶴川駅南口の
まちなみをつくる会
第1回が開催されました

五月にしては暑いほどの土曜日の午前、和光大学ポプリホール鶴川にて「第1回鶴川駅南口のまちなみをつくる会」が開催されました。土曜日の午前中でしたが、合計14名の方にご参加をいただき、この会の趣旨からはじまり、「魅力的なまちなみとは？」というテーマのもとに、まちなみを作るものを整理し、ご自身の敷地の地図を眺めながら、まちなみに対してどのようなアプローチが可能なのかを考えていきました。

鶴川駅南口の
まちなみをつくる会 とは？

鶴川駅の南口エリアにおいて、「良いまちなみは何か？」を学びながら、南口ならではのまちなみのつくり方を区画整理区域内の土地・建物所有者の方と専門家の方とを交え考える場（全4回）です。



【第1回はこのような進められました】

- (1) テーマ共有講義
「魅力的なまちづくりとは？」TNA 武井誠さん
- (2) 講義「住みたい住み続けたい街をつくるには」
国土館大学理工学部まちづくり学系教授
二井昭佳 先生
- (3) 個別ワーク「自分の敷地からまちなみを考える」

【鶴川駅南口のまちなみをつくる会】
第1回開催概要

日時：2024年5月18日 10:00-12:00
場所：和光大学ポプリホール鶴川3F 多目的室
テーマ：「魅力的なまちなみとは？」
ファシリテーター：TNA 武井誠さん、鍋島千恵さん
講師：国土館大学 理工学部 まちづくり学系 教授
二井昭佳 先生

テーマ共有講義

「魅力的なまちなみとは？」

TNA 武井誠さん（建築家）

魅力的なまちなみとはどのようなものでしょうか？「まちなみ」とひとこと言っても、何がどうあると、私たちは「魅力的」と感じるのでしょうか？この、「まちなみの魅力をつくっている要素」に関して、今回は自身を「建築オタク」とおっしゃる設計事務所 TNA の武井誠さんと鍋島千恵さんが、具体的なまちなみの例をあげて、「魅力的」と感じる要素について解説いただきました。

【 まちなみの事例 】

数種類のまちなみの事例をもとに、「建物・植栽・舗装・設備・サイン・点字ブロック・ファニチャー・照明・フェンス・横断防止柵・シェルター」の11個の要素が、どのような意図のもとで配置され、それによって私たちがどう感じているのかを再確認していきました。

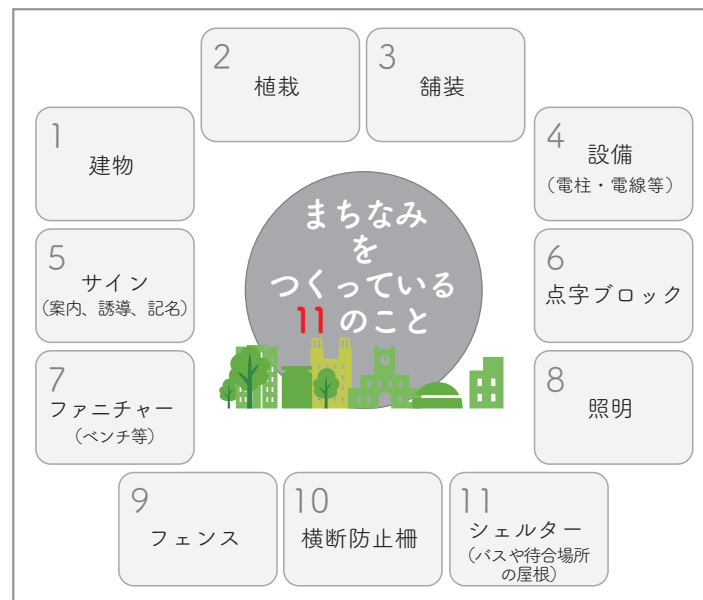


Map data@2022 Google



講義だけでなく個別のワークも行いました
当日配布された「まちなみ」づくりを学ぶテキストとしての「ワークノート」

【魅力的なまちなみを作る 11 の要素】



【まちなみをつくっているものの事例：駅前ロータリー】



専門家によるまちなみの講義

「住みたい住み続けたいまちをつくるには」

国土館大学理工学部まちづくり学系教授 二井昭佳 先生

住む人にとって、どんなまちなみが「魅力的」で「良い」まちなみなのか。二井先生からは「住みたい住み続けたい」という視点を掘り下げ、どのようなポイントが押さえられていると「住みたい住み続けたい」と思えるのか、そのためには、どういった点に配慮するといいいのか、また、個人ができる、まちの価値向上のためのヒントも具体例をあげて解説いただきました。

住みたい住み続けたいまちをつくるには

- ・まち全体の環境を魅力的にする
- ・住宅のしつらえや緑をまちに開く
- ・歩行者が安全で楽しく歩ける道を設ける
- ・気軽に佇める居場所をつくる
- ・緑や敷地を共有する



【2つの事例から選んでみよう！】

Q1

どちらの家のほうが価値が高いと思いますか？



Q2

どちらの方が治安が良さそうですか？



事例をもとに、「まちなみ」に対する感じ方を二択で選んでみると、多くの方が、共通の感じ方をしていることが分かりました。

個別ワーク

「自分の敷地からまちなみを考える」

専門家によるテーマ共有やヒントののち、それらを踏まえて、「魅力的なまちなみ」をつくるためのポイントをおさらいします。その後、それらを元に、土地・建物所有者の方々の敷地をイメージして、個別のワークを行いました。参加者それぞれの方の敷地図面が配られ、そこに、植栽や照明、ベンチなどの家具、フェンスなど、自分の敷地とまちなみがどのように影響し合うかをイメージしながら配置してみました。

【ワークでは、実際の敷地図面に要素を配置します】



地権者の皆さんそれぞれ、実際のご自身の敷地をもとに、「魅力的なまちなみ」をつくるという視点から、ワークをしました。会場では二井先生をはじめ、建築家の武井さんと鍋島さんに質問やアドバイスをもらいながら、ご自身の敷地について考えました。

【鶴川駅南口ではどんなことができそうでしょうか？】

5つの特徴をうまく取り入れることで、住みたい住み続けたいまちにつながります

- 特徴1：安心して歩ける歩行空間のネットワーク
- 特徴2：居場所となるたまり場
- 特徴3：歩きたくなる道のしつらえ
- 特徴4：まちに開いた住宅のしつらえや緑
- 特徴5：敷地を一体化することで
お互いの良いところをシェアする